

## 平成 26 年度教務委員会アニュアルレビュー報告書

### 1. 平成 26 年度の活動

- I 年間スケジュールによる活動
- II 中期目標と中期計画で計画されている活動
- III 平成 25 年度から引き継いだ課題
- IV 平成 27 年度に向けて対応を急いだ課題

### 2. 活動成果

#### 2.1 平成 25 年度からの課題

##### (1) 授業評価

→ 実施率・回収率の向上

- ・平成 24 年度、25 年度授業評価報告の作成と公開
- ・平成 26 年度授業評価の作成準備

授業評価アンケートの見直し

設問の再検討

集計方法の刷新と分析方法の再検討

(平成 27 年度からマークシート方式を導入。量的及び質的分析による授業分析。

平成 26 年度後期より英語コミュニケーション科目で試行。)

##### (2) CAP 制度導入及び運用の促進

##### (3) GPA 制度の導入に向けての準備

→ 本学の GPA 制度のあり方を検討。平成 27 年度から運用。

##### (4) 長期履修制度

→ 内規案を検討し制定(学部ごと)

##### (5) 自律的学習支援のための環境整備促進

→ 全学学生(学部生・大学院生)が使用可能な E ラーニングコースウエア(NetAcademy2)の導入支援

##### (6) 放送大学との特別聴講学生に関わる制度の整備

→ 覚書を新規制定

(他に、高知大学・高知工科大学・高知短期大学との間でそれぞれ覚書を改正)

#### 2.2 平成 27 年度に向けた緊急を要する課題

##### (1) 文化学部の新教育課程

→ 履修規程の改正・文化学部履修内規案の制定

##### (2) 健康栄養学部カリキュラム

→ 学内承認および届出のための手続

### (3) COC 関連

- 共通教養教育科目履修規程改正（域学共生科目新設）・各学部の履修規程改正
- 地域共生推進士養成プログラムに関する内規制定

### (4) 障がいを持つ学生に対する教育支援体制の構築と環境整備

- 科目等履修生からの要望への対応
- シンポジウムへの参加・情報収集（熊本ルーテル学院大・筑波科学技術大学・筑波大学）

### (5) 認証評価への対応

- これまでの活動実績の集約と残る課題の抽出

### (6) グローバル化への対応

- 留学生試験入学者に対する日本語教育（第二外国語の読み替え内規（文化学部）、留学生対象「日本語表現法」（H27年度共通教養教育））
- 英語による授業導入の検討（国際交流委員会、FD委員会との協働）

### (7) 学年担当教員制度

- 学習状態の把握の方法や効果的な指導方法等について情報収集

## 2.3 その他

### (1) 教職課程専門委員会の位置付けに伴う規程改正

### (2) 教職課程専門委員会 「教師教育コンソーシアム高知」設立に向けた準備

### (3) 当該学部の専任教員以外の教員が卒業研究科目担当者（兼担）となることについての方針のとりまとめ

## 3. 平成 27 年の課題（検討途中）

### (1) 認証評価の实地視察への対応（「授業評価アンケート」については平成 25 年度及び 26 年度分を準備）

### (2) 新教育課程（域学共生科目、文化学部新カリ）発足後のモニタリング

### (3) 新規に導入した制度(GPA, CAP 等)の運用について検証

### (4) グローバル化への対応

- 留学生に対する日本語教育充実の検討（共通教養教育科目の整備）
- 英語で行う授業導入の検討（国際交流委員会・FD委員会との連携）
- ダブルディグリー等の導入可能性について検討（提携大学間）

### (5) 教務関係の次期中期計画・中期目標の策定